



# ながい 市議会だより

令和6年2月  
(2024)  
第144号

寒中お見舞い  
申し上げます



令和6年長井市消防出初め式



第36回市内小・中学生書き初め大会

## もくじ

12月定例会の概要	2
一般質問	4
予算特別委員会総括質疑 議会運営委員会・常任委員会の行政視察報告	10
市民と市議会との意見交換会	12
人事・3月定例会日程	16

発行／長井市議会 編集／ながい市議会だより編集特別委員会 TEL (0238) 87-0812 (直通)

長井市議会ホームページ <https://www.city.nagai.yamagata.jp/shigikai/>



### 年頭に寄せて

議長 鈴木富美子



新年おめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年4月の統一地方選挙で新たな市議会となりました。また、コロナ禍で休止していた市民との意見交換会も4年ぶりに開催することができました。皆様からいただきましたご意見、課題につきましては、市議会としてもしっかりと向き合い議論してまいりますと考えております。

さて、今年元日から能登半島地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈りします。

本年もなお一層、市民福祉の向上と安全安心なまちづくりに向け邁進してまいります。

## 12月定例会

令和5年12月定例会を12月1日から21日までの21日間の日程で開催し、報告1件、一般議案3件、補正予算5件について審議を行いました。その結果、追加提案された議案（一般議案4件、補正予算6件）を含むすべての議案については原案通り可決しました。

また、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行い、指名推選により委員4名、補充員4名を選任しました（詳細は16ページに掲載）。

なお、一般質問には12名の議員、予算総括質疑には1名の委員が質問に立ち、当局の考えをいただきました。

### 議案

#### 指定管理者の指定

旧長井小学校第一校舎の指定管理者を、令和6年4月1日から令和11年3月31日まで指定するものです。



#### 長井市個人番号カードの利用に関する条例の設定

マイナンバー法に基づき、個人番号カードを利用し、公共施設の施錠事務・公共施設等の入退所記録事務を行うシステムを導入するため、必要な事項を条例で定めるものです。

#### 長井市印鑑条例の一部を改正する条例

移動端末設備（スマートフォン）を利用した印鑑登録証明書の交付を可能とすることに伴い、所要の改正を行うもの（当面アンドロイドのみの運用）です。

#### 主な最終日提案議案

#### 人事院勧告による職員給与に関する条例の一部改正

人事院勧告による一般職の職員及び特別職に属する者の給与に関する条例を一部改正するものです。

#### 長井市手数料条例の一部を改正する条例

戸籍謄本等の広域交付や新たに戸籍（除籍）電子証明書提供用識別符号発行等が追加となることから改正するものです。本籍地の市町村以外の市町村の窓口でも、戸籍謄本等の交付請求が可能です。

#### 長井市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

国民健康保険加入者で出産された方が、産前産後の期間保険料を減額されるものです。

※指名推選：地方議会の選挙において、投票によらず、指名者を定めてその者の指名する者を選挙者とする方法のこと。



一般会計補正予算～第9号・第10号・第11号～の概要 ※1万円未満切り捨て

- ◆灯油購入助成事業 712万円  
低所得者の冬期間の負担を軽減するため、1世帯1万円に増額助成
- ◆タスビル改修事業 3,500万円  
タスビル備品購入費補助金
- ◆デジタル地域通貨ながいコイン事業 6,000万円  
物価高騰に対する市民の負担軽減及び地域内消費の下支えとして、一人2千円のながいコインを配布
- ◆物価高騰対応重点支援給付金事業 1億9,575万円  
物価高騰により、特に家計の影響が大きい令和5年度住民税非課税世帯に対し、1世帯7万円を現金給付
- ◆物価高騰対応重点支援給付金事業 1億8,900万円  
高齢者施設、障がい者施設等に対する光熱費や食材料費等の物価高騰を軽減するための支援

一般会計補正予算～債務負担行為～の概要 ※1万円未満切り捨て

- ◆株式会社タスパークホテル備品購入に対する損失補償【令和5年度～令和15年度】 1億円
- ◆市営バス（平野バス）購入事業【令和5年度～令和6年度】 691万円
- ◆長井市平野児童センター指定管理料【令和5年度～令和10年度】 3億3,673万円
- ◆福田橋橋梁復旧事業【令和5年度～令和7年度】 3億2,419万円

※債務負担行為：あらかじめ次年度以降の債務を約束するもの。実際に支出する年度に改めて予算に計上しなければならない。

常任委員会活動報告

常任委員会は、付託された議案の審査をするほか、必要に応じて実際に施設や現地を確認しています。

また、補正予算等による事業の実施状況の確認、先進的な取り組みをしている企業や課題のある施設の現状確認など、関係者の皆様にご協力をいただき、視察を行っています。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

産業・建設常任委員会 12月14日

産業・建設常任委員会では改修中のタスビルと旧ティーエヌアイ工業跡地の現地視察を行いました。

タスビルの改修は令和6年3月までの完成を目指しており、1階への飲食店等の移動、プールから温浴施設への改修、客室のリフォームなどの工事が急ピッチで行われていました。旧ティーエヌアイ工業の工場棟跡地は、全体は専修学校の山形工科短期大学校が入りますが、東側の工場は軽運動場として市民が利用できるように改修予定で、用途変更に必要な工事を行い、受水槽の新設と浄化槽への配管工事などが必要になるとの説明を受けました。



旧ティーエヌアイ工業



タスビル

★令和5年12月定例会に提出されたすべての議案等の議決結果は市議会のホームページに掲載しています。



勝見英一朗

### 部活動任意加入制 導入にあたって

弁 想定される課題に 答 応じて対応していく

は保護者が持つことになりま す。今後、中学生が地域クラ ブ等で活動する場合には、ク ラブ等が入る保険に加入し活 動する必要があります。

Q: 部活動任意加入制により、 学校外で活動する生徒が増え ていくと思われます。高校入 試を見据えたうえで、そう した生徒の活動が指導要録や 調査書等に適切に反映される 必要があります。そのために は、学校と地域クラブ等と緊 密な情報共有が大切と思いま す。それができる連携シス テムをどのようにつくってい く考えですか。

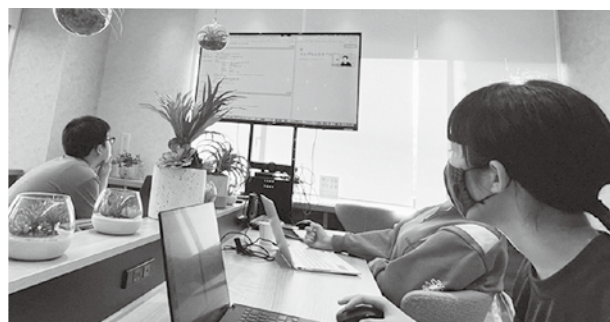
A: これまでも中学校では、 子どもの自己評価や部活の顧 問、外部指導者等の評価も出 願書類に反映しています。ま た、各校長が高校を訪問し、 個々の生徒の状況を伝えてい ます。一方で、調査書には一 律で簡潔な記載が求められて いることが課題であり、その 改善について県に伝えていき ます。

Q: 放課後に学校外の地域ク ラブ等で活動する場合、学校 管理下外となり、活動場所ま での移動を含め、小中学生全 員が加入する日本スポーツ振 興センターの補償対象外とな ります。センターが補償する 「学校管理下」とされる範囲 の明示や、新たな保険加入が 推進されることなど周知が必 要ではないですか。

A: 登下校は学校の管理下で はありませんが、センターの 補償対象になります。登下校 も含めて学校外の活動の責任



中型免許が必要な消防ポンプ自動車



放課後タス2階で活動する「地域 ICT クラブ」



平 進介

### 消防団の装備等の 充実を

弁 補助制度等を活用し 答 計画的に整備を進める

Q: 「消防団ポンプ自動車」は、 昨年度は第5分団の今泉が更 新され、今年度は第2分団の 成田が更新整備されます。新 車両の運転には「準中型免許」 が必要とのことですが、ポン プ車班員の免許の状況はどの ようになっていますか。

A: 「ポンプ自動車」を有す る班は団全体で6班になり、 総員は65名となります。この うち、本年度「準中型免許」 以上の免許を保有する団員は 50名で、全体の約77%となっ ています。

Q: 今後更新する「消防ポン プ自動車」の免許は、総重量 の関係から「準中型免許」が 必要になります。各分団に配 備されている「消防ポンプ自 動車」の更新時期に合わせ、 新たに「準中型免許」を取得 する団員への支援措置が必要 と思いませんかがですか。

A: 県内ではまだ少数ですが 支援をしている自治体もある ようです。支援しながら計画 的に取得していただくよう、 団幹部と相談し検討しなけれ ばならないと考えています。

Q: 総務省消防庁は、平成26 年2月に「消防団の装備の基 準」の改正を行いました。消 防団の装備は、この基準に基 づいて整備されていると思っ ます。特に、個人装備の状況 と、来年度以降の整備予定は どのようになっていますか。

A: 活動服、アポロキャップ、 安全帽、雨衣、救助用半長靴、 防寒衣などを全団員分整備し ています。来年度は、全団員 分の防寒衣の更新、また、各 班に配備する防火衣の予算を 要求しています。

**Q:** 本市の中心市街地の総店舗数及び空き店舗数、また、空き店舗となった業種を伺います。

**A:** 令和4年度の調査によると、総店舗は224店舗で、そのうち62店舗が空き店舗となっています。また、業種別では、小売業が8件、生活関連サービス業が3件、金融業、娯楽業、教育・学習支援業、医療業が各1件ずつとなっています。

**Q:** 遊びと学びの交流施設「くるんと」がオープンしましたが、飲食などの販売が不足しているのではと考えます。施設内にコーヒーマシヨップはありますが、客単価を高く設定しているように感じており、日常的に利用することに抵抗があります。そこで、協同薬品側のスペースに、テイクアウト専門の飲食店が2、3店舗入るサテライト的な建物を造ることはできませんか。利用者は、駐車場に車を置いたまま子どもを連れて買い物ができ、買ったものを芝生広場で食べることもできます。また、「くるんと」の名称は登録商標化されているようですので、様々なグッズの販売も検討すべきではないですか。

**A:** 施設内のコーヒーマシヨップは、他と比較し安価で利用者が多い状況です。飲食機能については、今年度は試行期間として、定期的に「くるんと」の入口付近で、市内事業者によるキッチンカーの出店を実施しています。また、オリジナルタオルやけん玉等のグッズ販売についても、指定管理者側で検討しています。

**弁 答**  
市内事業者のキッチンカーの出店を試行中

「くるんと」の駐車場にテイクアウト専門店を



内谷 邦彦



児童発達支援センター「あゆむ」



「くるんと」前に出店したキッチンカー

**Q:** 本市は、多様性を認め合う社会づくりを推進しており、困り感のある子どもたちに寄り添うための人材や組織について、非常に高い水準にあると思います。しかし、各組織や団体が互いにあと一声かけ合い、助け合う取組ができれば、困り感のある子どもたちと家族をさらに救うことができると思います。

そこで、本市と幼稚園、保育園、認定こども園、児童発達支援団体などが連携し、困り感のある市内の未就学児の

**弁 答**  
子どもたちの包括的支援に向けた連携を深める

「困り感」のある子どもたちを地域で包括的に支援



渡部 秀樹

**Q:** 市内小中学校を軸として、家庭と市長部局、児童発達支援団体等との情報共有を図り、連携を強め、困り感のある子どもたちを地域で包括的に支援するための体制づくりを提案します。

**A:** 教育委員会では、小学校に入学する前の早い段階から、子育て推進課、健康スポーツ課と連携し、困り感を持った子どもや保護者と関わっています。今後も諸団体との連携を密にしながら、子どもに学びの場を提供できる体制づくりを推進していきます。

支援について、地域で包括的かつ迅速に行えるよう推進することを提案します。

**A:** 育児等に困り感がある方の相談窓口のひとつに「子育て支援相談」があります。この相談は、乳幼児健診等で勧める場合のほか、保育所等からの紹介でつながることも多くあります。さらなる支援充実のため、保育所や地域等の関係機関との共通理解を図りながら連携を確かなものにしていきます。



金子 豊美

市制施行70周年  
記念事業の取組は

**弁** 街ににぎわいをもたらす  
記念事業を検討

**Q:** 令和6年度は市制施行70周年を迎えます。現在、記念事業としてどのような内容を考えていますか。また、60周年記念事業では、バート・ゼツキンゲン市長を招待されましたが、姉妹都市関係者や本市に關係のある方々等、招待者の範囲はどうですか。

**A:** 市制70周年の節目を皆さんとともに喜び、次のステップにつなげられる事業を検討中です。記念式典には、姉妹都市のほか、これまで交流を深めてきた関係国の方々もご

招待したいと考えています。

**Q:** 60周年では、記念事業推進協議会を設置して事業を実施してきました。今回も関係各団体をはじめ市民の協力と参加が必要です。市職員の負担増も予想されることから、早めに組織を立ち上げ事業を企画し、市民の協力と理解を得ながら取り組むべきではないですか。

**A:** 記念事業の実施にあたっては、市民の皆様はもちろんのこと、関係団体、関係機関のご理解とご協力が不可欠ですので、協議会など組織の立ち上げも含め今後検討してまいります。

**Q:** 新年度の予算編成時期でもあることから、記念事業に必要な予算については、一般財源やふるさと納税の活用も含め、当初予算に計上し進めることが大切ではないですか。

**A:** 当初予算に計上することが基本と考えますが、70周年にふさわしい事業について検討段階であり、場合によっては補正予算で対応させていただきます。ことも想定しています。



地域住民による側溝清掃



市制施行60周年記念事業「大相撲 長井黒獅子場所」



鈴木 英則

物価高騰と経済再生に向けた年内の予算化は

**弁** 年内に予算化し早期の  
執行を目指す

**Q:** 国の経済対策において、低所得世帯への支援枠を拡大し、一世帯当たり7万円を追加支援する方針が決定され、補正予算が成立しましたが、本市の年内の予算化に向けた対応を伺います。

**A:** 今定例会最終日に補正予算の議案を提出し、速やかに給付の手続きを開始したいと考えています。

**Q:** 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が市町村に交付されますが、推奨事業メニューを活用した、本市の年

内の予算化に向けた対応を伺います。

**A:** 低所得世帯への支援と同様、今定例会最終日に補正予算の議案を提出し、早期に執行したいと考えています。

**Q:** 期限が過ぎて使い切れなかった「ながいコイン」があったとお聞きします。今後はカードでも利用できるよう、カード未対応の店舗にどのように対応していきますか。

**A:** やむを得ない事情によりカードでの対応ができない店舗もありますが、8割以上の店舗では利用可能であり、購入できる商品も多岐に渡りますのでご理解いただきたいと思います。

**Q:** 高齢化に伴い、市道の側溝の砂利上げ作業が、地区や町内会でも難しくなっています。今後どのように対応していきますか。


**A:** 従来からの自助・共助の精神に基づき、役割分担しながら維持管理に努めたいと思っております。引き続き地域住民の皆様のご協力をお願いいたします。

**Q.** いじめや不登校などの要因や背景は様々で、学校での対応だけでは難しくなっています。医療や福祉面も関わってくることから、関係機関の協力が不可欠で、福祉面の専門職であるスクールソーシャルワーカーの役割が重要です。継続的に個々の状況に合わせて支援を行う必要があることから、必要な人材をしっかりと確保するため、処遇を改善するとともに、配置の拡充を行うてはどうですか。

**A.** スクールソーシャルワーカーは、一人ひとりの子どもや保護者に丁寧に取り添う大事な役割を担っています。来年度も処遇改善しながら継続して配置します。また、国事業の活用に向けて国や県に要望していきます。

**弁 答**  
専門人材等の配置により丁寧に取り添う

**いじめや不登校にきめ細かな支援を**



**竹田 陽一**

**Q.** 鳥獣対策の担い手が減少する中、被害軽減に向け、より安全に効率的な捕獲を行うため、ドローン等の新技術を活用してはどうですか。

**A.** ドローンを活用した鳥獣対策については、「スマートシテイ長井実現事業」の中で検討しています。今年7月に捕獲支援の効果について実証実験を行いました。

**Q.** 南陽市梨郷に通じる市道寺坂東線は、警告看板などが設置されていますが、ポイ捨てが多いことから、ポイ捨て防止強化のため、防犯カメラを設置してはどうですか。

**A.** 置賜地区不法投棄防止対策協議会で実施している防犯カメラの貸出事業を活用し、今後も不法投棄の発生状況を見ながら防犯カメラの設置を検討していきます。

**Q.** 鳥獣対策の担い手が減少する中、被害軽減に向け、より安全に効率的な捕獲を行うため、ドローン等の新技術を活用してはどうですか。

**A.** ドローンを活用した鳥獣対策については、「スマートシテイ長井実現事業」の中で検討しています。今年7月に捕獲支援の効果について実証実験を行いました。



補聴器



ソーシャルワーカー（イメージ）

**Q.** 自分では気づきにくい難聴のために、市の特定健康診査に聴覚検査を導入してはどうですか。せっかく補聴器を購入しても適正に使用できない方のために、使い方教室の開催や、認定補聴器技能者による相談を行っているかがどうですか。また、補聴器利用者の社会参加のために、補聴器購入費助成を求めます。高齢者の「聞こえ」に積極的な支援を行ってください。

**A.** 聴力検査は、来年度から人間ドックのオプションとして

**弁 答**  
ヒヤリングフレイルの周知活動を継続

**高齢者の「聞こえ」に積極的な支援を**



**今泉 春江**

**Q.** 自分では気づきにくい難聴のために、市の特定健康診査に聴覚検査を導入してはどうですか。せっかく補聴器を購入しても適正に使用できない方のために、使い方教室の開催や、認定補聴器技能者による相談を行っているかがどうですか。また、補聴器利用者の社会参加のために、補聴器購入費助成を求めます。高齢者の「聞こえ」に積極的な支援を行ってください。

**A.** 聴力検査は、来年度から人間ドックのオプションとして

実施する予定です。今年度から実施しているヒヤリングフレイルの周知活動を今後も継続し、認定補聴器技能者等による相談の実施についても検討してまいります。補聴器購入費助成については、情報収集し今後の検討課題とします。

**Q.** 食生活改善推進協議会は、市民の健康づくりに取り組んでいますが、高齢化などにより会員数が減少しています。会員養成の栄養講座を、休日や夜間に開催するほか、単位不足にはアドバンス講習での補習を可能にするなど、会員増加のために柔軟な対応を検討してください。また、事業拡大のため委託料の検討も必要と考えますがいかがですか。

**A.** 高齢化やコロナ禍の影響で、会員の減少が進んでいますので、多くの方に会員になっただけのために、受講しやすい体制を整えてまいります。委託料については、健康づくりに関する新たな事業に取り組む場合、有効性などを検討しながら、推進協議会と協議させていただきます。



鈴木 悟司

### 食育推進計画における農産物の地産地消は

**弁 答** 調理場の発注に合わせた調整と食材の納入

**Q:** 食の安全・安心と農産物の地産地消について、生産者と学校給食をつなぐコーディネートーターを配置して、計画的な納入を実施していますが、取組と課題を伺います。

**A:** 調理場からの発注に合わせて、出荷可能な生産者の調整と食材の納入を行っています。課題は、発注量が多いため提供できる生産者が限定されていることなどです。

**Q:** 学校給食に山形県産米の「つや姫」「雪若丸」の使用を検討してはどうか。また、

農産物使用の市内産割合について、「現状より徐々に増加」を目標にしていくことで、生産者に意欲を持たせる施策にすべきではないですか。

**A:** 現在は、長井地区農政対策協議会様から地元産の「つや姫」「雪若丸」を提供いただいております。今後より多くの地元食材を取り入れた献立を工夫し、栄養バランスのとれた安心安全でおいしい給食の提供に努めてまいります。

**Q:** 次世代を担う青少年の健全育成では、青少年の社会参加を推進するため、ジュニアリーダー育成事業を取り上げていただいています。今後の取組として、地元高校生がジュニアリーダーサークルを立ち上げ、地域に密着した活動を行う予定です。育成事業について、どのように進めていく考えなのか伺います。

**A:** ジュニアリーダーの育成については、ぜひ現在の活動を継続していただき、スクール・コミュニティとしても双方向により影響となるよう期待しています。



長井市防災訓練水防訓練（土のう積み）



バイキング給食



鈴木 裕

### 地区や集落等の再編の動きに支援の手立てを

**弁 答** 各地域に合わせた支援を継続していく

**Q:** 人口減少、少子高齢化により「地区再編」が地域によっては急を要する切実な課題となっています。集落によってはもうすでに具体的な話し合いを持たれていますが、当事者だけではなかなか前に進まずジレンマや悩みを抱えています。地区という単位は、住民の生活基盤、コミュニティ機能として重要で、地区が機能しなくなれば、市の行政運営に大きな支障を来します。地区の合併や再編を推進できるように、何らかの支援の手立

てはないですか。

**A:** 地区の合併・再編については、以前から地区長の皆様からご意見をいただき、市でも合併やその検討にあたっては様々な支援をしてまいりました。今後も持続可能な地域コミュニティをつくっていくため、各地域に合わせた支援を検討し、継続してまいります。

**Q:** 本市の消防団は、定数の600名を割っており、今後、高齢化とともに退団者も増えてくると思いますが、消防団の必要性・重要性から、定数確保は非常に大きな課題です。各分団の団員数のバランスも考慮し、消防団員の拡充にどのような取組をされますか。


**A:** 団員確保対策の一環として、機能的消防団員制度の導入を検討していますが、あくまで補完的な制度ですので、まずは正規団員の確保に向けて、地域の皆様にご協力をお願いするとともに、企業としてご協力いただく消防団協力事業所制度への一層の加入促進を図ってまいります。



**Q:** 昨年本市がSDGs未来都市に選定されました。SDGsは国連で採択された持続可能な開発目標で、達成すべき17のゴールと169のターゲットで構成されています。今年度策定の本市の第六次総合計画や他の計画とSDGsの目標が連動していますか。

**A:** 六次総前期基本計画に掲げる施策等との関連はありますが、SDGsは国連が定めた2030年までの目標であり、必ずしも全ての計画と連動するものではありません。

**第8次総合計画とSDGsの目標は連動しているか**



**浅野 敏明**

**弁 答**  
前期基本計画における施策は全てSDGsと連動

**Q:** SDGsでは、サステナブル社会への取組が最も大切で、独自の取組として水平リサイクル「キャップtoキャップ」を前提に、ボトルキャップの回収を市民と一体になって進めてはどうですか。

**A:** カーボンニュートラル実現に向け、資源ごみを回収している置賜広域行政事務組合に提案していきます。

**Q:** 置賜定住自立圏構想の第二次共生ビジョンを策定の予定ですが、広域交通ネットワークと、公共交通網の整備の具体的な取組をお聞かせします。

**A:** 公共交通ワーキンググループを設置し、公立置賜総合病院へのアクセスという視点から、置賜広域で連携した公共交通網整備を検討します。

**Q:** コロナ禍で開催ができなかった全国規模のフットパス大会の開催を、改めて検討すべきではないですか。

**A:** 長井フットパスウォークの組織を強化したうえで、参加者増を図るため会員制にするなど、大会で成果を残せるよう今後検討してまいります。

**Q:** SDGsでは、サステナブル社会への取組が最も大切で、独自の取組として水平リサイクル「キャップtoキャップ」を前提に、ボトルキャップの回収を市民と一体になって進めてはどうですか。

**A:** カーボンニュートラル実現に向け、資源ごみを回収している置賜広域行政事務組合に提案していきます。

**Q:** 置賜定住自立圏構想の第二次共生ビジョンを策定の予定ですが、広域交通ネットワークと、公共交通網の整備の具体的な取組をお聞かせします。

**A:** 公共交通ワーキンググループを設置し、公立置賜総合病院へのアクセスという視点から、置賜広域で連携した公共交通網整備を検討します。

**Q:** コロナ禍で開催ができなかった全国規模のフットパス大会の開催を、改めて検討すべきではないですか。

**A:** 長井フットパスウォークの組織を強化したうえで、参加者増を図るため会員制にするなど、大会で成果を残せるよう今後検討してまいります。



担い手農業者




SDGs (持続可能な開発目標)

**Q:** 今年の果樹や野菜は、猛暑、酷暑の影響により、生育障害や品質と収量の低下が著しく、また、米の生産でも高温による品質の低下がみられ、さらには、肥料、資材、燃料の高騰で、農家の経営が厳しい状況にあります。また、畜産関係も飼料の高騰などで厳しい経営が続いています。

今後の農業において、担い手の育成と持続可能な農民生産を考えたとき、農地の集約や効率的な機械の導入、新たな作物の検討などが重要な

**担い手育成と持続可能な農民生産とは**



**梅津 善之**

**弁 答**  
多様な担い手も含め農業者と協議し適切に支援

今後の農業において、担い手の育成と持続可能な農民生産を考えたとき、農地の集約や効率的な機械の導入、新たな作物の検討などが重要な

ります。人・農地プランから移行した地域計画の策定とおして、各地域で農業者はもとより、地域の様々な方々と将来の農地のあり方や集落の維持、それを支えるための組織づくりなど、行政と共に考え生き残る、支え合う仕組みづくりが大切だと考えますがいかがですか。

**A:** 地域計画の策定に向け、地区ごとに座談会を開催するなど準備を進めています。座談会では、人・農地プランや地域計画に係る資料のほか、事前にアンケート調査を行い、地域の課題や現状等をまとめた資料を使った説明や意見交換を行っています。アンケート調査では、農地利用の効率の悪さ、労力確保の不安、担い手の高齢化への対応、スマート農業や受託事業体の育成、農地集積や新規就農者等に関する記述が多くありました。

今後も農業者が大幅に減少することが予想される中、多様な担い手も含め、農業者と協議しながら適切な支援を行ってまいります。

# 予算

## 特別委員会

### 総括質疑

#### 介護医療院のメリットは

**鈴木一則委員** このたびの吉川記念病院の介護医療院転換は、介護保険サービスになかった制度だと思いますがどのようなものですか。

**長寿介護・地域包括支援センター担当課長** 長期医療を必要とする医療病床の実態調査をもとに再編が行われ、介護医療院は、要介護者の長期療養と生活支援施設として創設されました。

**委員** 要介護高齢者の退院後の介護施設への入所待ちが長期になることから、利用者の実態や地域事情を酌んだ制度だと思えます。市の高齢者介護施策へのメリットはどうですか。

**厚生参事** 介護医療院は、介

護サービスの充実に向けた施策と併せ、増加すると予想される医療ニーズのある要介護高齢者の生活を支える施設です。メリットとして、介護や機能訓練のほかに医療、看取り、ターミナルケアが受けられ、長期医療を必要とする方にとって新たなサービスの選択肢が増えることから、有効な利用を考えてまいります。



介護医療院 (イメージ)

## 議会運営委員会行政視察報告

議会運営及び議員活動の活性化を図ることを目的とし、議会運営委員会が先進地を視察しました。

令和5年10月23日～25日

大阪府大阪狭山市、愛媛県西予市

議会改革の先進地である大阪狭山市では、平成23年に議会改革特別委員会を設置し、市長に對しての反問権の付与、通年議会の開催による迅速な議会対応、大規模災害など非常時の議員の活動指針や議会開催の通知、情報伝達の手段としてグループウェアの導入による紙資源の抑制と事務局業務の負担軽減、事務の効率化などを実現しています。

また、本会議のユーチューブ配信や令和4年の統一地方選挙からは人口5万8千人でありながら定数15名から14名に削減して議員数が減ることによる弊害が生じることのないよう、委員会運営の活性化や議会報告会のあり方、施行から3年が経過した議会基本条例の見直しにも取り組み議会の機能強化を図っている先進的な議会でした。

西予市ではICT化によるオフィス改革でペーパーレス化、業務の向上・議会の活性化を推進、平成28年にタブレット端末

を導入し、ペーパーレス化だけでなくグループウェア導入による議員のスケジュール管理、各種会議の案内、行政資料の送付をタブレット端末で行っています。また市民との意見交換会は地区ごとの開催ではなく分野別の意見交換会を実施し、高校生との意見交換会も開催しています。今後は議会や行政に関心が持てるよう中学生との意見交換会も検討しているようです。

全体として議会のICT化による効率的な議会運営と、市民に求められる議会づくりを感じ取れる視察でした。



愛媛県西予市役所

総務常任委員会行政視察

令和5年10月4日～6日

長野県岡谷市、飯山市

岡谷市では、令和2年度に地域ポイントカードとキャッシュレス決済を併せた「岡谷ペイ」の運用を開始しました。買い物した金額に対して100円につき1ポイント(1円)を付与し、現金のチャージ、行政からのポイント付与もオンラインで一括して行えるようになっていきます。本市のながいコインのポイント付与に大変参考になりました。

飯山市では、移住・定住のための取組、地域防災計画、道の駅の拡張整備事業の3つのテーマについて視察しました。

移住・定住のための取組については、平成26年開業の北陸新幹線飯山駅開業を契機とした交流人口の増加から定住人口の増加を目指す施策展開、田舎暮らし体験を切り口に「飯山市ふるさと回帰支援センター」を設立し、定住者の増進を図って効果を上げています。

地域防災計画については、水

防訓練、総合防災訓練の実施、防災DXの推進、消防団処遇改善と機能別消防団員制度を導入し対応しています。

道の駅の拡張整備事業については、アクティビティ需要の増加により、拠点施設を民間企業と連携して増設し、アウトドア利用者の増加とにぎわい創出を図っています。

地方都市の人口減少、災害への対応、まちの活性化の施策に参考となる視察となりました。



長野県飯山市役所

常任委員会行政視察報告

市政の発展や行政の適正な運営のため、特徴のある事例を学ぶことを目的とし、各常任委員会が先進地を視察しました。

文教常任委員会行政視察

令和5年10月11日～13日

埼玉県吉川市、石川県金沢市、富山県南砺市

吉川市立美南小学校は、公民館・学童保育・高齢者ふれあい広場等が併設された複合施設で、地域コミュニティの拠点となっており「スクール・コミュニティ」の観点からも機能的であると感じました。また、進化し続けるデジタル社会に対応する吉川市のデジタルシテイズンシップ教育はわかりやすく先進的で学ぶ点が多くありました。

金沢市の金沢型学校教育モデルは、大きく分けて「金沢型学習プログラム」(何を学ぶか)と「金沢型学習スタイル」(どのように学ぶか)に分けられ、それらを包括的に学びの土台とするために「金沢型小中一貫教育」を実施し、家庭や地域と協力・連携した教育が進められています。一貫教育で大きく変わったのは「教員の意識」ということでした。教職員の間で、9年間で育てるという連続性が共有されていることは様々な面

で良い効果を生むと考えられ、学力向上については小中一貫教育の効果も反映されているのではないかと感じました。

南砺市では山間部に位置する複合教育施設である利賀小・中学校を視察しました。児童生徒数の減少を受け、平成29年から短期山村留学を開始しており、地域活性化にもつながる取組ですが、教育効果や費用負担との兼ね合い、児童・生徒と保護者の希望など幅広く検討する必要がありますと感じました。



富山県南砺市立利賀小・中学校

ご質問、ご意見にこたえます

## 第9回市民と市議会との意見交換会

～さらなる市民参加と開かれた議会を目指して～

11月8日から20日に第9回市民と市議会との意見交換会を開催しました。

市議会では議会の活性化と情報公開に向けて活動しており、このたびの意見交換会では本市の財政や子育て支援などを中心に、説明や報告をさせていただきました。市民の皆様からは、暮らしの課題や要望、ご意見を数多くいただき感謝申し上げます。

### 1. 開催状況

対象地区	会場	開催日	班	参加人数	班	担当議員
豊田地区	豊田コミュニティセンター	11月8日(水)	3班	21人	1班	◎今泉春江 平進介 竹田陽一 鈴木一則 平井直之
伊佐沢地区	伊佐沢コミュニティセンター	11月9日(木)	1班	13人	2班	◎梅津善之 金子豊美 内谷邦彦 鈴木裕 鈴木英則
平野地区	平野コミュニティセンター	11月14日(火)	3班	25人	3班	◎勝見英一朗 浅野敏明 渡部秀樹 渡部正之 鈴木悟司
致芳地区	致芳コミュニティセンター	11月15日(水)	2班	4人		
西根地区	西根コミュニティセンター	11月17日(金)	2班	9人		
中央地区	中央コミュニティセンター	11月20日(月)	1班	13人		

◎は班代表者。議長(鈴木富美子)は全ての班を統括する。

### 2. 意見・要望等 (概要)

意見・提言・要望・質問等	回答
意見交換会で出た意見が、市議会や市政に反映されたかわかるようにして欲しい	皆さんの意見を市議会でも話題にし、市政に届くようにしていかなければ市は良くなっていきませんので、今後ともご意見やご要望などよろしく願いいたします。
意見交換会で出た意見は記録に残るのか	市議会だより等で報告します。意見や質問を受け不明であったところは市当局に確認し報告しますが、解決できない内容については市議会として市長宛に申入れを行います。
議員の成り手不足で定数の削減をすると意見が減り、力が削がれる。政治を学ぶ部活動を議会で主催し政治を身近に感じてもらうなど、市議会でもっと検討すべき	この度の統一地方選挙が無投票だった件や議員の成り手不足の件については、市議会でもしっかりと議論していきたいと思っております。
人口減少で議員の成り手も不足している。定数を削減し給与を増やせば若い成り手も出るのではないのか	市議会の成り手不足については、議会でも様々な意見があります。この件について議会内でも課題として捉えているところです。
市議会で開催されている行政視察で活かされるものはあるか	行政視察は実際に視察先に行かないとわからないことが多々あります。例えば、議会運営委員会の視察では反問権や反論権を先んじて認めている議会がありました。また、タブレット端末によるペーパーレス化や議員定数の考え方についても学ぶ機会を得ることができました。
実質公債費比率について、指標からすると5年後18%に限りなく近づいているが、その要因と対応は	大型公共施設等の整備による起債の償還が始まっていることが要因の一つです。また、中期財政見通しとして実質公債費比率のピークは令和9年度の17.1%と予測しています。なお、議会ではこれからも注視してまいります。
長井駅西側住民の買い物支援について、うめやさんが撤退すると車を運転できない人は不便になる。どのように対応するのか	この課題については企業の考え方もありなかなか難しい問題です。議会としても大変大きな課題であり対応について検討していく必要があると考えています。なお、市営バスの循環ルートや時間帯等を地域住民の使いやすい時間に合わせるよう要請することは可能と考えます。

意見・提言・要望・質問等	回 答
<p>11月8日に起きた停電時に防災無線や屋外拡声装置が全く機能しなかった。災害時やこの度のような<b>広範囲の停電</b>の際にはどのようにして情報を把握したら良いのか</p>	<p>全域が停電しているような場合は一番早く情報を把握できるのはラジオで、スマートフォンの東北電力アプリサイトも情報は早かったということです。この件については市議会としても担当課と対応について協議していきたいと思っております。</p>
<p>令和4年8月豪雨時に、旧国道287号を横断する排水路のごみ詰まりから<b>内水被害</b>が出た。担当課長と打合せし排水路の管径を太くする要望書を市に提出したが市議会にも情報共有はされているのか</p>	<p>要望書について議会には情報は伝わっておりませんので、ぜひ、要望書を市長に提出する際には、議会にもお示ししていただければありがたいと思います。なお、相当広い範囲で内水氾濫の懸念があり、同じような要望は各地区からいただいておりますので、十分承知しているところです。</p>
<p><b>防雪柵</b>の施設要望を毎年しているが、10年ほど防雪柵の増設はされていない。ぜひ、将来的な<b>防災計画</b>に防雪柵の設置を盛り込んでほしい</p>	<p>防雪柵については、市内各地区からも要望があるかと思えます。担当課でも検討していますが、ぜひ継続して要望していただきたいと思えます。また、将来的な防災計画については確認し回答させていただきます。</p>
<p><b>河川愛護デー</b>で数年前から刈らなくなった河川内の草木が繁茂している。さらに浚渫の必要もあり、財政の問題もあると思うが豪雨時に<b>水害</b>の恐れがあるためきれいにしたい</p>	<p>県道・河川については、建設課から県へ要請しています。最上川のプロジェクト予算を使い、一級河川の工事を進めていただくよう話をしていきます。</p>
<p><b>GIGAスクール構想</b>について、1人1台のタブレットは素晴らしいが、中学生の生活のリズムがタブレットやスマホにより崩れ、勉強に集中できていない状況であり、その辺をきっちりと子どもたちに教えていただきたい</p>	<p>配布されたタブレットにより、子どもたちの特性に合わせたタブレットの活用をしているところです。また、本市では自宅に持ち帰り宿題や病欠時のリモート学習にも使われています。なお、ゲームに集中して勉強が疎かになるということはGIGAスクール構想以前からずっとあった課題です。市内小中学校ではPTAの研修会などでメディアとの付き合い方についても、親子で学び合っています。</p>
<p><b>学校教育</b>について、近隣に小中一貫の学校になっている自治体もある。これは大事なことなので危機感を持たねばならないのではないのか</p>	<p>小中一貫教育については、過疎化による人口減少で児童・生徒が激減したために行った手法です。本市は基本方針として各地区の小学校や児童センターを大切に、そこに住んでもらう形で進めています。しかし、小中一貫教育の良さもあることから、一つの手法としては今後考えていく必要があると考えます。</p>
<p><b>コミュニティ・スクール</b>と<b>コンパクトシティ</b>としてのコミュニティセンターの役割について議論をされていることを教えてほしい。また、コミュニティ・スクールと地域の連携をどのように捉えているのか</p>	<p>本市ではコミュニティ・スクールとして、学校が地域の中に入り込み学校と地域が連携を深めていく形がこれまで中心でした。そして、学校とコミセンが同じような行事を個別に実施するのではなく、例えば実行委員会を立ち上げ、学校を会場として地域と学校の行事を併せて行うなどが、将来的なスクール・コミュニティの考えではないでしょうか。また、本市では地区の方々による授業参観や学校と地域の方々の意見交換の場を設け、子どもたちの環境やPTAの問題が解決された事例もあります。</p>
<p><b>部活動</b>は指導者不足になっている。市職員にも協力をお願いしたい。指導について有償になる面も含み検討してほしい</p>	<p>文教常任委員会でも教育委員会から今後の部活動の体制について説明を受け、現在委員会内で議論しています。いただいたご意見を反映できるようにしていきます。また、運動部だけでなく文化部も同様であり大きな課題だと思えます。</p>



会場の状況（豊田コミュニティセンター）



会場の状況（伊佐沢コミュニティセンター）

意見・提言・要望・質問等	回 答
長井クリーンセンターの不燃ごみ処理施設が故障し使用不能になっているようだが、今後どのような対応を考えているのか	令和5年9月から不燃ごみ施設内の破砕機が故障しており、不燃ごみ置き場を増設しつつ現在に至っています。令和6年6月頃までに施設の改修に努め、その間は他の自治体の処理場に搬送しての破砕処理や移動式破砕機による処理などの検討について説明を受けています。
本市の特別老人施設はどのくらいあるのか、入所条件に合わない人の対応をどうしていくのか	施設の数や入所者数については、後日確認をして報告いたします。入所に関しては、福祉あんしん課に相談していただきたいと思ひます。
地区の若年層にひきこもりが多く、集団にも社会にも入れない。議会で話題になったことないのか	どこの地区でも同様の問題があり、議会でも取りあげられています。最近個人情報保護法などで対応がしづらくなっております。
人との関わりが苦手な社会に馴染めない方を後押ししている団体はないか	社会復帰を後押ししている支援団体はありますが、事情はそれぞれありますので、温かく見守っていきたくと思ひます。
新産業団地の地区の説明会で、豪雨時に新産業団地から雨水は流れ出ないという話があったが、多くの市民は排水がさらに増えると思ひている。調整池はどのくらいの雨量に耐えるのか、具体的な数値を示して欲しい	令和6年度からの造成工事が始まります。今までも何回か説明会は開催したと思ひますが、調整池等の設計の説明はまだしていませんので、実施設計後に説明をしていただくよう議会からも要請したいと思ひます。
企業誘致は非常に大事。市外の大きな企業に本市の卒業生も就職している。公共施設を充実させても地元就職先が無ければ人は定着せず、若く優秀な人材がいなくなってしまう。議会でも議論して欲しい	新産業団地の企業誘致は令和8年度くらいを目途に進めています。現在、市内外から1件ずつ話が来ているようです。企業誘致については各方面から動いているものの簡単ではありません。就業者の課題もあり長期的に考え条件を整えねばならないと考えます。
熊・イノシシの被害について、くくり罠で熊を捕獲してしまった場合は非常に危険であり、イノシシを捕獲した場合でも外れることもある。行政運営委員会で罠に獲物通報システムの確立をお願いしたが、現状を確認してほしい	鳥獣被害対策として、動物が罠にかかった時に無線で連絡が入る捕獲監視システムを使用している方もいます。熊やカモシカなどの捕獲を発見した場合は、猟友会会長にまず連絡していただきたいと思ひます。行政運営委員会であった通報システムについては、その後どのような状況になっているのかを確認し報告いたします。
有害鳥獣駆除の捕獲頭数は、また畑の1/3ほどにイノシシの被害が出ている。穴堰付近では熊も目撃している	有害鳥獣駆除の捕獲頭数は決まっております、狩猟期間も決まっております。また、ハンターを増やして対応しているエリアもあります。
西廻り幹線道路について進捗状況が伝わっていない。救急患者を本市北西部から公立置賜総合病院への移送に、時間がかかり助からなくなると思ひうが	西廻りの幹線道路について、正式な進捗状況などについては市議会にも伝えられておりませんが、西廻り幹線道路建設促進期成同盟会が立ち上がり、数年前から本市の重要事業要望書を国と県に提出しています。

※いただいた意見等を要約して掲載おりますが、上記以外の意見・提言・要望・質問等は15ページに項目ごとまとめて掲載しております。また、長井市議会ホームページでも詳細をご覧ください。



会場の状況 (平野コミュニティセンター)



会場の状況 (致芳コミュニティセンター)

第9回 市民と市議会との意見交換会

意見・提言・要望・質問等の概要一覧

◆意見交換会について

- ・来年も意見交換会を行うのか(西)
- ・議会や市政への反映がわかるようにして欲しい(西)
- ・意見交換会で出た意見は記録に残るのか(伊)

◆議会関連について

- ・行政視察で活かされるものはあるか(西)
- ・議会の会派と議員間討議(中)
- ・議会の日数と議員定数(西)

◆議員の成り手不足について

- ・政治を学ぶ部活動を議会で主催するのはどうか(中)
- ・定数削減、給与増で若い成り手が出るのでは(豊)

◆財政について

- ・実質公債費比率が18%に近く5年後の対応等は(豊)
- ・少しでも将来の負担を減らすべき(中・豊・平)
- ・令和8年度の実質公債費比率が高いが(平)
- ・公共施設整備による財政への不安(中)

◆公共交通について

- ・長井駅西側住民の買い物支援は(中)
- ・廃止となった市営バスのルートの説明は(豊)
- ・児童・生徒の登下校に使える市営バスルートは(平)
- ・フラワー長井線のイベント企画やトラブルなど(中)

◆防災について

- ・広範囲停電時にどのような情報を把握するのか(豊)
- ・排水路のごみ詰まりによる内水被害(豊)
- ・防雪柵の施設要望(豊)
- ・豪雨災害に備え河川の草木伐採と土砂の浚渫を(伊)
- ・公共施設(避難所)の空調設備とトイレの洋式化(平)
- ・屋外拡声装置の追加(平)
- ・避難所までの距離があり避難が困難である(致)

◆公共施設整備等について

- ・旧図書館の利活用は(豊)
- ・くるんとの利用時間延長と年間維持経費(豊)
- ・市役所の業務量と残業(西)

◆学校教育について

- ・タブレット等による生活のリズムの崩れ(平)
- ・小中一貫教育に対する危機感(中)
- ・スクール・コミュニティの考え方は(平)
- ・コミュニティ・スクールと地域の連携は(平)
- ・指導者が不足している部活動(中)

◆コミュニティセンター(コミセン)について

- ・コンパクトシティとしてのコミセンの役割は(平)
- ・コミセンのイベントを含む業務量改善(平・致)
- ・コミセンの事業は地域ごと違う(西)
- ・コミセンに公用車の配備を(致)



会場の状況(西根コミュニティセンター)

◆市民生活について

- ・長井クリーンセンター不燃ごみ処理施設の故障(中)
- ・中心市街地への大型商業施設誘致(中)
- ・令和6年4月1日からの消防通信指令業務(中・平)
- ・街路灯と協働のまちづくり(西)
- ・集落や隣組の合併・再編には行政の後押しを(西)
- ・放置空き家問題をどうするのか(西)

◆高齢者支援について

- ・高齢者へのインフラ整備の補助を(西)
- ・高齢者に地区費の負担は困難(致)
- ・高齢者支援と空き家問題についての見解は(伊)
- ・運転免許証返納者へのバス利用券などの支援は(平)

◆市民福祉について

- ・特別老人施設はどのくらいあるのか(伊)
- ・特別老人施設の入所条件に合わない人の対応は(伊)
- ・若年層にひきこもりが多い(致)
- ・社会復帰支援(致)
- ・運転免許証返納者への補助を(平)

◆有害鳥獣駆除について

- ・獲物通報システム確立の現状(伊)
- ・有害鳥獣駆除の頭数などは(致)
- ・具体的な有害鳥獣対策は(平)

◆新産業団地と企業誘致について

- ・新産業団地の調整池の貯水量は(豊)
- ・企業誘致は非常に大事(中)
- ・若い女性が勤められる企業を誘致すべき(豊)
- ・新産業団地の企業誘致についての情報は(豊)
- ・新産業団地の排水対策は(豊)
- ・子育て支援のためにも新企業の誘致を(伊)

◆道路整備について

- ・西廻り幹線道路の進捗状況は(平)
- ・二重坂落石区間の赤いコーンの撤去は(伊)
- ・桑沢林道や市道大沢線の工期は(西)
- ・災害復旧の遅れている市道の早期着工を(致)

◆除排雪について

- ・除雪を朝・夕の2回要望(中)
- ・除排雪時のためグレーチングを観音開きに(中)
- ・空き家の除雪問題(伊)

◆その他

- ・シニア大学設置(中)
- ・スマートストアの採算は(伊)
- ・旧ティーエヌアイ工業の跡地利用は(伊)
- ・議場コンサートの参加人数は(中)



会場の状況(中央コミュニティセンター)

人事

◎選挙管理委員会  
委員を選任

高橋 律子 さん  
(十日町) 再任

梅津 純一 さん  
(歌丸) 新任

村上 宜法 さん  
(寺泉) 再任

牛澤 敏宏 さん  
(横町) 再任

◎選挙管理委員会  
補充員を選任

木村 道子 さん  
(草岡) 再任

鈴木 秀明 さん  
(芦沢) 新任

青木 與惣右衛門 さん  
(平山) 再任

林 久敏 さん  
(五十川) 新任

文教常任委員会市内視察



文教常任委員会は11月30日、学校現場におけるICTの活用について現状を確認するため、長井小学校を視察しました。

1年生から6年生までの授業を見せていただき、どのように電子黒板やタブレット端末が使われているのかを視察しました。その後、校長先生からご説明いただき、宿題や音読、欠席等の連絡手段としてもICTが活用され、教員の負担軽減にもつながっていると伺いました。今後ますます進むデジタル化の中で、ICTの活用は不可欠であり、進展するものと期待します。

次回 3月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
2月11	12	13	14	15	16	17
		全員協議会	総務	文教	厚生	
		常任委員会協議会				
18	19	20	21	22	23	24
	産業・建設 常任委員会協議会	常任委員長会	招集告示			
25	26	27	28	29	3月1	2
	議会運営委員会		本会議(開会) 予算特別委員会			
3	4	5	6	7	8	9
	本会議 (補正予算表決) (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	総務	文教	
	常任委員会			常任委員会		
10	11	12	13	14	15	16
	厚生	産業・建設	予算	予算	予算	
	常任委員会		特別委員会			
17	18	19	20	21	22	23
			本会議 (表決・閉会)			

◎請願の提出期限は、2月7日(水)の予定です。  
◎正式な日程や質問内容などは、市議会のホームページでお知らせしています。

長井市議会ホームページ

長井市議会

検索



ながい市議会だより  
編集特別委員会

竹田陽一 ◎渡部秀樹 ○渡部正之 鈴木悟司  
平井直之 鈴木英則  
(◎委員長 ○副委員長)

編集後記

今年の干支は甲辰(きのえたつ)といい、『成功という芽が成長していき、姿を整えていく』という意味があるとわかれております。  
昨年から新型コロナウイルス感染症が5類に移行となり、また『くるんと』のグランドオープンに伴い交流観光が再開しにぎわいが戻りつつあることは喜ばしいことです。  
今年の干支のように、これまで培った芽が成長し、新たな形となつて、幸せな一年になることを願っています。  
(N・H)